撮影用パソコン変更

田中直樹

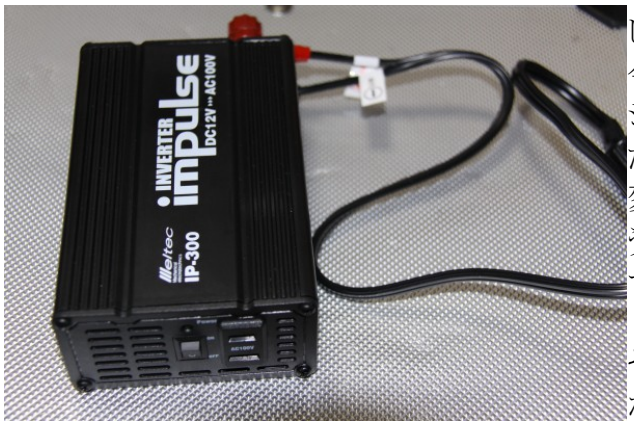
今まで、天体撮影用のノートパソコンは Dynabook を使っていたのですが、大分前に誤って落とした衝撃でモニターのヒンジ部が破損してしまいました。

まあ、PC自体の動作は一応問題なかったのでそのまま使い続けていたのですが、日に日にヒンジ部の損傷が激しくなり、遂には持ち運びするのにも神経使うレベルに。もげそう。

そもそもこのPCのOSはWinXPでしたので、痛い出費にはなるのですが、この際PCを買い換えることにしました。が、かといって新品に買い換える余裕も無いので、中古品を探していたところ、サイズやスペックも丁度いい物が見つかりました。

中古機なので、最新モデルには及ばないとは言え、一応CPUは Core i7 系なので撮影機材やソフトを動かすには十分なスペックかと。

元々OSはWin7が入っていたのですが、折角なので、Win 10 にバージョンアップしました。
一応冷却CCDの制御ソフトや PHD などは問題なく動作したので、多分今まで使っていたソフトウェアの動作面は大丈夫かと思いますが、実際に撮影にはまだ使っていないので、実運用で問題なく動くかは実際戦々恐々としている所。



しかし、一つ誤算が。
今まで、バッテリーからPC用の電源を取るときは、シガーソケットから直接電源を取れるようにしていたのですが、このPCの使用電圧では微妙な所。
変に繋いで壊したくも無いので、AC/DC 電源を使うことにしました。別にそんなに高いものでもないですから。

そうなると気になるのはバッテリーの使用効率ですが、まあ、ディープサイクルバッテリーですから、一晩立たずにバッテリー切れは流石に無いと思うので、その辺あまり深く気にはしないでおこうと思います。